

特別陳列

Buddhas of Mudou-ji in Amenomori

雨森無動寺

のホトケたち

農村に眠る密教の輝き



法印延信坐像

- ◎開館時間：午前9時～午後5時（入館は4時30分まで）
- ◎休館日：火曜日・祝日の翌日
- ◎入館料：一般 300円（団体250円）・小中学生 150円（団体130円）
 - * 団体は20名以上です。
 - * 長浜市・米原市の小中学生は無料です。
 - * 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳等をお持ちの方及びその付添いの方1名は無料。（ただし、証明となる手帳等の提示が必要）

高月観音の里歴史民俗資料館

〒529-0233 滋賀県長浜市高月町渡岸寺229 TEL0749-85-2273 (FAXとも)

令和2年

7 [水] 22 → 9 [月] 7



不動明王立像

Buddhas of Mudou-ji in Amenomori

農村に眠る密教の輝き

雨森無動寺 のホトケたち

特別陳列



愛染明王坐像



法印延教像



阿弥陀如来坐像



種字両界曼荼羅図【金剛界】



種字両界曼荼羅図【胎藏界】

滋賀県の北東部、湖北地方には観音像をはじめ多くのホトケたちが残されています。そしてホトケたちは、地域の人々の暮らしに根付き、ホトケへの信仰心とともに、人々に長く受け継がれ守られてきました。湖北のホトケたちは、地域の人々の暮らし方や風土と深く結びついているのです。

長浜市高月町雨森は高時川沿岸に広がった集落です。式内社天川命神社が鎮座し、また江戸時代に対馬藩に仕えて朝鮮との善隣外交に尽力した儒学者・雨森芳洲の出身地として知られています。一〇〇戸余りの雨森の集落内には八ヶ寺が建ち、様々な宗派に属しています。無動寺は不動明王を本尊とし、別名「不動坊」とも称される、新義真言宗智山派（本山は京都東山七条の智積院）に属する寺院です。康正元年（一四五五）、僧慶養によって開かれ、天川命神社の別当寺であったと伝えられます。江戸時代中期、雨森村大橋氏出身の延教が、神照寺（本市新庄寺町）で学んだ後、当寺に入って復興したといわれています。無動寺には、本尊不動明王をはじめ、多くの仏像・仏画が伝えられています。

この企画展示では、普段公開されていない無動寺の仏教美術を特別公開し、湖北地方の信仰文化の一端に触れていただく機会としたいと考えます。

主な展示品

【彫刻】

- 不動明王立像 1 軀
- 阿弥陀如来坐像 1 軀
- 愛染明王坐像 1 軀
- 千手観音三尊像 3 軀
- 不動明王立像 1 軀
- 弘法大師坐像 1 軀
- 法印延信坐像 1 軀

【絵画】

- 種字両界曼荼羅図 2 幅
- 法印延教像 1 幅



展示説明会

日時：令和2年8月29日（土）午後1時30分～
場所：高月観音の里歴史民俗資料館2階展示室

令和2年7月22日（水）～9月7日（月）

高月観音の里歴史民俗資料館

〒529-0233 滋賀県長浜市高月町渡岸寺229
TEL0749-85-2273（FAXとも）